

問1 実験で、燃えているほのおを小さくしたいとき、空気の入り口をどのようにすればよいですか。

問2 ろうそくや木が燃えるときに、空気中から一部が使われて減る気体は何ですか。

問3 ろうそくや木などが燃えたあとの空気の中で、燃える前と比べて新しくできて増える気体はどれですか。

問4 実験で、空気の入り口をだんだんせまくしていくと、ほのおの大きさはどうなりますか。

問5 ものを燃やす前の空気の中に、二酸化炭素はおよそ何%含まれていますか。

問6 ちっ素や酸素、二酸化炭素、水蒸気などのさまざまな気体が混じり合っていてできている、私たちのまわりを取り囲んでいるものを何といいますか。

問7 集気びんの中でろうそくを燃やし続けるとき、どのようにするとろうそくは燃え続けますか。

問8 空気の入り口を下に、出口を上にして空気の入れかわりをよくすると、びんの中のろうそくの燃え方はどうなりますか。

問9 二酸化炭素を通すと、白くにごる性質がある液体はどれですか。

問10 集気びんの中でろうそくを燃やし続けると、やがて火が消えてしまいます。このように、ものが燃えたあとに火が消えるのはなぜですか。

問11 水と置きかえて気体を集める方法には、どのような良い特徴がありますか。

問12 ちっ素には、どのような性質がありますか。

問13 びんの中でろうそくを燃やし続けるために、空気の入り口を下に、出口を上にとすると、びんの中の空気はどうなりますか。

問14 集気びんの中でろうそくを燃やすとき、びんにふたをして新しい空気が入らないようにすると火が消えるのはなぜですか。

問15 石灰水に、ものを燃やしたあとの空気を通すと、石灰水の様子はどうなりますか。

問16 ろうそくや木などが燃えるとき、まわりの空気の中にある気体はどのように変化しますか。